

# ま ちがと インタビュー

## ふたば未来学園高等学校が開校して三年目 高校生活を振り返って、今、思うことは

今年度はじめて、一年生から三年生まで揃ったふたば未来学園高等学校。  
今回は、第一期生として高校生活を送る三年生に、どんな日々を過ごしてきたのかお聞きしました。



まつもと さやか さん  
松本 彩華 さん

私は第一期生として、ふたば未来学園に入学しました。雪が降るといって珍しい入学式から始まりましたが、三年間はあっという間でした。



双葉郡の高校の伝統を引き継ぐというプレッシャー、周囲の方々の期待を背負い過りました。

また、他の高校では経験できない取り組み、著名な方々の授業等、地域に根差した学び等、貴重で濃密な高校生活を送ることができました。



やすだ たかひろ さん  
安田 卓弘 さん

ふたば未来学園での三年間は、とても有意義で濃密な毎日でした。双葉郡や福島について考える授業や海外での研修では、地域や自分をじっくりと見つめ、解のない過酷な課題でも自分なりの解を見つけ出すという先進的な学びをすることができ、貴重な経験となりました。

建学の精神である「変革者たれ」という言葉のように、自分、地域、社会を変革する変革者になれるようこの学び舎で学んだことを活かし、羽ばたいていこうと思います。

### 編集後記

今月衆議院選挙、来月には町長選挙が実施されます。私たちの意見や要望は選出された代表者によつて政治に反映されます。候補者の人物や政策を正確に見る眼を備え、大切な自分の一票を進んで投票することが必要です。

今月には、議場における議論や町民の声を公平・公正に掲載し、町民の為に議会を実現してまいります。

(小磯 利雄)



金銭的約束や供応などに惑わされたり、義理人情で投票してはならないことは、言うまでもありません。私たち議員の目指すべき議会は「町民の意思を無視した独善的な行政や無駄づかい、非効率、利権や特権などをエツクできる能力と清潔さを持つ議会、町民の多様な意見が活発に議論され、町民に情報と課題を明らかにし、安全・安心実現のため働く議会」を目指

- 発行・編集責任者 議長 黒田政徳
- 広報委員会  
委員長 塩 史子  
副委員長 阿部憲一  
委員 北郷幹夫  
委員 小磯利雄  
委員 遠藤 浩

次の定例会は12月です

